

Tommykaira *R*



Tommykaira *R*

Max output 370ps/7800rpm

Max torque 42.5kgm/4600rpm

Tommykaira *R-s*

Max output 425ps/7800rpm

Max torque 45.0kgm/6000rpm

*仕様、データ等は予告なく変更する場合があります。
*詳細なオプション、装備、ボディカラー等は日産純正に準じます。
*価格は別紙をご覧ください。
*カタログの写真は印刷物のため実際の商品とは異なって見える場合があります。



TOMITA 夢工場

<http://www.tommykaira.com> Email info@tommykaira.com



クルマが硬派だった時代。

かつてモータースポーツで活躍したクルマたちは、みな乗り手を選ぶ強者マシンばかりでした。ドライバーに高度なスキルを要求し、シフトレバーとクラッチワークにも職人芸が求められました。エンジン調整も一筋縄ではいかないところが逆に征服感を誘い、いったんツボにはまればとてつもないタイムを叩き出す・・・そんなマシンがサーキットにあふれていた時代でした。スカイラインGT-Rは、当時の頂点に立っていたのです。1999年、そんなモータースポーツの系譜を今に伝える新しいスカイラインGT-Rに、我々はどんな夢を託すのか。ここにトミーカイラR開発の原点があります。

GT-R本来のフォルムをよみがえらせる。

R34スカイラインGT-R。その完成度の高さに、だれもが目を見張りました。4年前、R33で究極とさえ思われたGT-Rが、ひとまわり大きなスケールで生まれ変わったのです。これは進化ではなく、まったくあたらしいRの誕生です。トミーカイラは、このGT-Rにひとつのおおきな夢を託しました。近年、世界のトップクラスのスポーツカーですら、セミオートマチックが主流となり、快適さが大きなセールスポイントのひとつに上げられる時代にあって、トミーカイラは、GT-Rに本来ならこうであつたらう硬派なスタイリングとパワー、そして卓越した運動性能を与えることにしました。

軽快なレスポンスの追求にこだわる。

トミーカイラは、低回転時のビクアップをそこなわず、全域にわたってアクセルレスポンスにこだわりました。今回新たに採用された6速ミッションの魅力をとことん味わうために、どうしても欠かすことのできないポイントが、ここにあります。トミーカイラRでは、バネ下重量を軽減するために、F-1マシンのほとんどに採用されている高価な鍛造マグネシウムホイールを採用するなど、総合的なレスポンスの向上にむけて細部を調律。ボリューム感たっぷりのフォルムに反して、普段使いの領域での軽快な操縦性能を実現しています。

Design

ボリューム感あふれる ブリスターフェンダーの存在感

フロントフェンダーの大きく左右にせり出したブリスターに、トミーカイラRの本気があふれています。リアフェンダーのボリュームあるデザインとバランスをあわせるなら、フロントはボンネットラインから大きく張り出した、このブリスタータイプしかあり得ない！開発陣の確固たる信念が、この存在感あふれるフロントの造型を産みだしたのです。ブリスターからつづくフロントスポイラーは、冷却機能を第一に考えた大口径のエアダクトをデザイン。曖昧な表情を廃した、レーシングカー本来の顔を削りだしています。先端のリップスポイラーは整流効果とエアロの保護にも役立つアクセント。むき出しに装着されたレーシングタイプのインタークーラーが、ただものではない素性を物語っています。

サスペンション性能は、常にトミーカイラの独壇場でした。その真骨頂は、硬派なフォルムに相反して、きわめてマイルドな乗り心地にあります。堅ければイイ・・・そんな幼い先入観はトミーカイラRには通用しません。市街地をごく普通に流すスピードであれば、いわゆるスポーツサスと呼ばれるような、堅く突き上げる不快感など、ほぼ感じられないはず。

法定速度+ α に近い速度域までは、しつとりとショックを吸収し、無用な緊張感をドライバーに強いることがありません。たとえば未知のコーナーにオーバースピードで進入した場合でも、ステアリングを修正するだけのゆとりを残して、操舵感覚を喪失することがないのです。このときスキルアップされたドライバーなら、サスペンションの細かな動きまでを感じることはできません。

トミーカイラRがその本領を発揮するのは、最大トルクを発生する回転を過ぎるあたりから。ピークトルクランプを常に点灯させたままシフトアップを続けると、そこからは異次元の（というより、GT-Rが本来持つはずだった）領域へと突入することになります。19インチホイールがもたらすシャープで落ち着いたステアリング操舵感は、リアのダウンフォースが増すほどに安定感が高まり、スピードを感じさせません。そのとき、ルーム内は驚くほどの静寂さを保ちながら加速を続けることでしょう。まるでルマンをターゲットに作られた、あのマクラレンGT-Rのパフォーマンスに触れた気にさせてくれる・・・そんなドライバビリティをトミーカイラRは実現しました。

たとえば、ルマンのフィーリング。
サーキットで調律された躰の良さ
Suspension

AeroTuning

サーキットを視野に入れた、ディフューザーとリアのトリプルウィングスポイラー

リアのトリプルウィングは、純粋な機能パーツとして開発されました。GT-Rクラスのマシンを制御するには、これ程の表面積がどうしても必要でした。

アルミステーに直結した最下段のウィングは、ボディ〜トランクへと流れる空気の整流効果を高め、上段のウィングは、リアのダウンフォースを発生させる役割を担っています。さらに最上段のフラップは角度調整機能付き。走行パターンに合わせて三段階に変更することができます。サーキットでは角度を大きく付け、ダウンフォースを強くしてコーナーリングスピードを高め、通常の高速走行では寝かせて空気抵抗を減らす・・・。リア・ディフューザーは、トリプルウィングとの視覚バランスを考慮して設定されたデザインで、総合的な整流効果を担っています。

Tommykaira **R**



Performance

SPECIFICATION

★ Max Output 370ps/7800rpm
Max Torqu 42.5kgm/4600rpm

★-s Max Output 425ps/7800rpm
Max Torqu 45.0kgm/6000rpm

BODY

Length : 4620mm Width : 1785mm
Height : 1335mm Wheel base : 2665mm
Tread : (F)1496mm (R)1506mm

ENGINE

RB26DETT STRAIGHT-6
DOHC Turbo with multi-cup Intercooler
Piston Displacement : 2568cc
Bore×Stroke : 86.0mm×73.7mm

LAYOUT

ATTESA E-TS
Transmission : 6MT
Breakes :
(F)4Piston Oppsed Type Caliper + VentilatedDisc
(R)2Piston Oppsed Type Caliper + VentilatedDisc
Weheels : 9.5JJ×19(Front&Rear)
Tire : 275/30ZR19(Front&Rear)
Suspension : original coil spring
Steering : Rack&Pinion< SUPER HICAS >



・独自に設定されたスポーツスプリングとショックアブソーバーのコンビネーションに、ピロボール化されたフロントテンションロッドの組み合わせ (R-s)

エアロパーツ

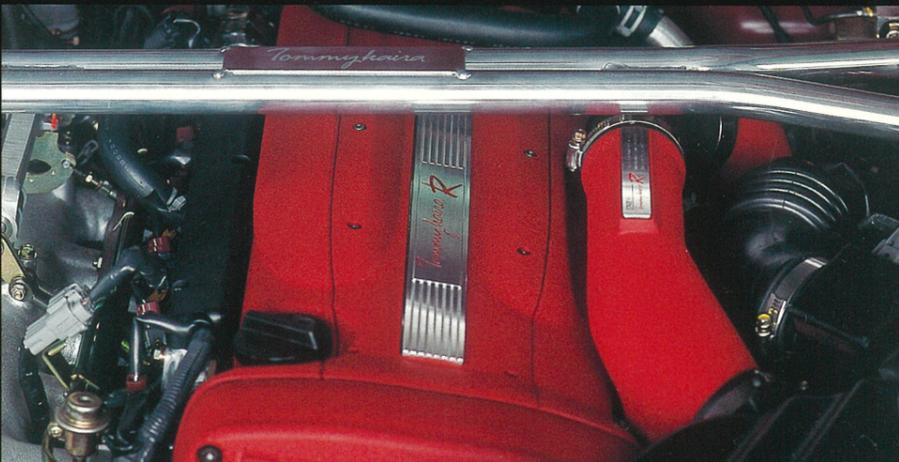
- フロントスポイラー
- リア・ディフューザー
- プリスターフェンダー
- リア・トリプルウィングスポイラー
- サイド・ディフューザー

チューニングは、小さな積み重ねの、調律技術です。

ドライバーの走行ステージをシミュレーションした結果、トミーカイラでは、370馬力のRと425馬力のR-sの2タイプを設定しました。GT-Rのポテンシャルを、本来あるべき姿に解き放ったRは、必要十分なパワーとトルクアップで、まったく別の車格へとグレードアップ。市街地から高速道路まで、その動力性能は圧倒的な優位を極めています。425馬力を発生するR-sは、サーキットでのスポーツ走行を視野に入れ、冷却対策やブレーキ性能の強化までを含めた無敵のストリートマシンとして完成されています。極めつけは、両車の外観にまったく差がないことです。見栄や虚飾ではなく、求める走りにも最適なチューニングによってセットアップ。どちらも、トミーカイラが自信を持って世に送り出すコンプリートマシンなのです。

*R-sタイプには、下のチューニング項目が追加されています。

- ・レーシングタイプのインタークーラー
- ・タービンキット
- ・ハイパワーに対応したスプリング&ビルシュタイン
- ・オイルクーラー
- ・ツインプレートクラッチ
- ・ブレーキパッド
- ・ストラットタワーバー (マスターシリンダーストップバー付き)



●写真はR-s仕様 (撮影用につき、細部で実車と異なる場合があります)

Interior

アルミ素材の削り出し加工。トップに七宝製のエンブレムが埋め込まれています。6速ミッションをより官能的に操るために・・・。



シフトポイントを指示するデジタルスピードメーターを標準装備。

大型で視認性にすぐれたデジタル表示を中心に、ピークトルクを示すイエローランプ。最適なシフトアップポイントを知らせるレッドランプ。ふたつのインジケーターを配した、トミーカイラオリジナルのデジタルスピードメーターです。



レーシングスポーツのために開発されたオリジナルシート。ホールディング性能の高さと腕の自由度を両立させた腰～ショルダー部分への立体造型が、ドライバーと一体化。(マスコットとブランドロゴの刺繍入り) *オプション

トミーカイラR専用 19 inch 鍛造マグネシウム削り出しホイール

Tommykaira PRO★



GT-Rクラスのマシンをレーシングスピードで操るには、サスペンションの一部であるホイールが重要なチューニングパーツとなります。トミーカイラRの開発と同時にスタートした専用ホイール。トミーカイラ「PRO R」は、あのF-1マシンに装着されているレーシングホイールと同じ素材、同じ製法でつくられた超軽量ホイールです。パネ下重量の軽量化によって実現したトミーカイラRのシャープなハンドリングには、このトミーカイラ「PRO R」の存在があります。

さらにコンプリートカーとしてのバランスを重視したトミーカイラRでは、タイヤサイズや銘柄柄までも含めた総合的なレスポンスの良さと極限状態でのステアリングインフォメーションの確かさに着目。冷却性能も考慮された、軽量化だけではない耐久性と安全性へのこだわりも、サーキット対応のトミーカイラR専用ホイールの完成度の高さから生まれています。

size	weight
9.5JJ × 19 inch	9.3kg
color	適合タイヤ
ゴールド	275/30ZR19

*専用ナット付き

■オプションで全車に設定可能
・フロントブレーキ6ポットキャリパー (AP Racing社製)
・フロントブレーキローター (AP Racing社製)
・ブレーキパッド
世界のモーターレーシングの分野で、高い評価を得ているAP Racing社のブレーキシステムは、ハードなサーキットにおいても安心して攻め込むことのできる信頼性の高い足回りセッティングをお約束します。
*写真の6ポットブレーキキャリパーは、AP Racing社製